

### 取扱い上の注意

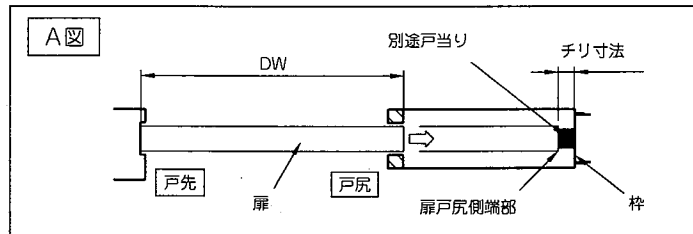
この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございました。  
ご使用の際は、下記の注意事項をよくお読みになり十分ご理解の上、正しくご使用下さい。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管して下さい。

**【事故防止のための注意事項】**

- 仕様外の扉寸法、扉質量へのご使用は避けて下さい。
- 本機器はブレーキが効かなくなると扉が勢いよく閉まり、指をはさんだり、接触及び転倒事故の危険があります。万一油の漏れや部品の破損等により、速度調整をしてもブレーキが効かなくなった場合は、速やかに機器をお取り替え下さい。
- 装置の分解・改造をしないで下さい。万一された場合、以後の保証は致しかねます。
- 機器の取付ネジは確実に締め付けて下さい。機器の破損及び事故の原因となります。
- ハンガー車用外れ止めは必ず取付けて下さい。扉が脱輪し転倒する危険があります。
- 戸尻側へ戸当りを必ず設置して下さい。  
【扉閉扉時の戸尻側端部から枠までのチリがある場合は、チリ部分への戸当りの取付けを行って下さい：右下A図参照】
- 部品を落としたり、叩いたりしないで下さい。故障の原因となります。
- クローザにより扉は自閉しますので、無理に扉を速く閉めないで下さい。扉が勢いよく閉まり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 子供が扉にぶら下がり遊ばないようにご注意下さい。

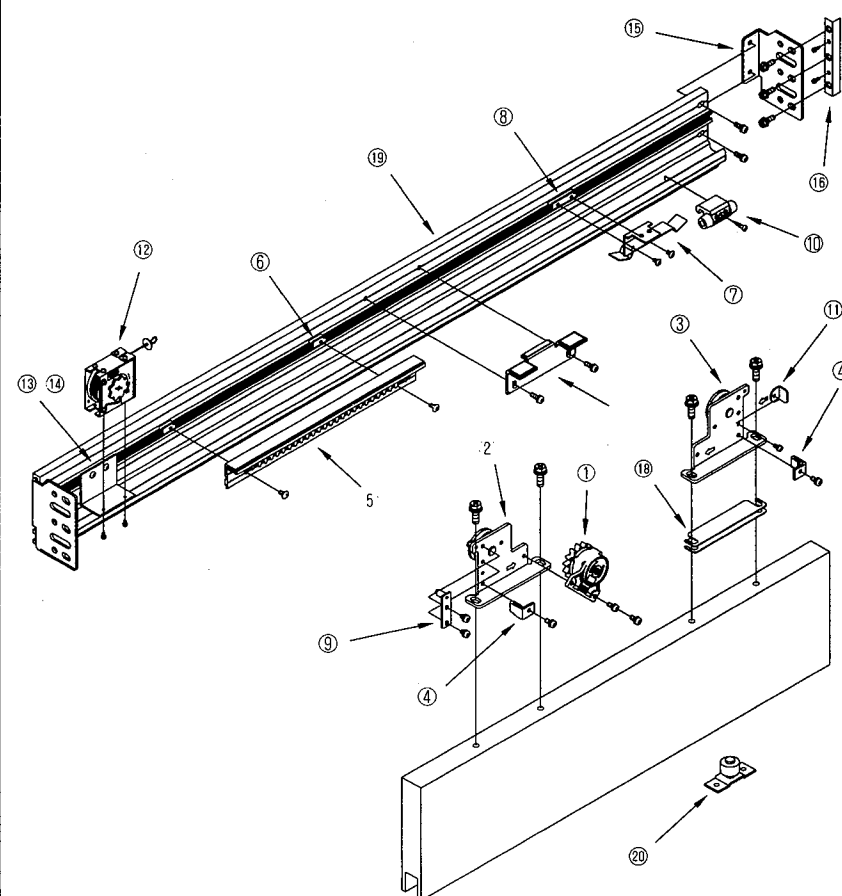
**【永くご使用して頂くための注意事項】**

- レール及び戸車に付着したゴミ等を拭き取って下さい。
- ネジの緩み等異常がないか、定期的に点検を行って下さい。



### 部品明細

※1. 部品には右引き、左引きの勝手があります。本図は右引き（右勝手）を示します。  
【右引き・左引き共に戸先用のハンガー車にはワイヤー固定ビスが組付けられています。】



No.	部品名称	数量	備考
①	制動装置	1	
②	ハンガー車（戸先用）	1	
③	ハンガー車（戸尻用）	1	
④	ハンガー車用外れ止め	2	
⑤	制動ラックセット	1	
⑥	プレートナット	2	制動ラック用
⑦	全開ストッパー	1	
⑧	プレートナット	1	全開ストッパー用
⑨	ストッローラ	1	
⑩	戸当り（調整式）	1	
⑪	戸当り当て板	1	
⑫	引戸クローザ	1	
⑬	クローザ用ブラケット	1	
⑭	プレートナット	1	クローザブラケット用
⑮	コーナーブラケット	2	
⑯	裏板	2	
⑰	支持金具	1	
⑱	高さ調整板（t=1.0）	4	
⑲	レール L=2200 [2800]	1	
⑳	ガイドローラ	1	オプション

※本製品セットは、製品納入時にレールに右表の部品を組み付けておきます。

No.	部品名称
⑤	制動ラックセット
⑥	プレートナット
⑦	全開ストッパー
⑧	プレートナット
⑫	引戸クローザ
⑬	クローザ用ブラケット
⑭	プレートナット
⑮	コーナーブラケット
⑰	支持金具

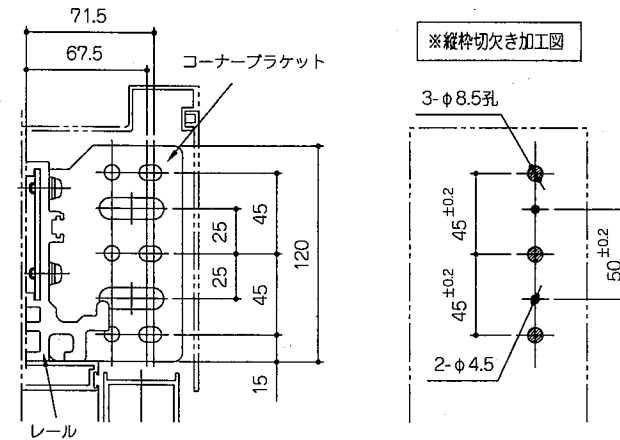
### 取付手順

（本図は右引きを示します。左引きは本図と対称になります。）

#### 1 裏板の取付け

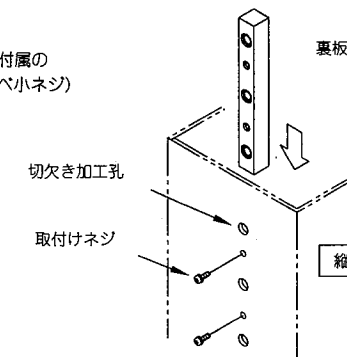
##### ① 縦枠の切欠き加工

● 下図のようにコーナーブラケットの取付け孔位置に合わせ、縦枠に切欠き加工をして下さい。



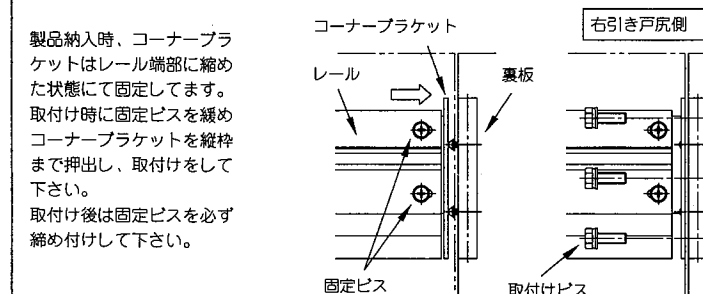
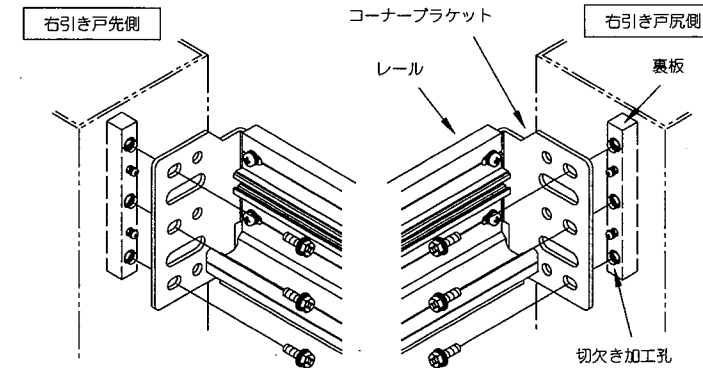
##### ② 裏板の取付け

● 加工した縦枠の切欠き孔に合わせて、付属の取付けネジ（M4×16 座金組込みナベハネジ）で裏板を取付けて下さい。



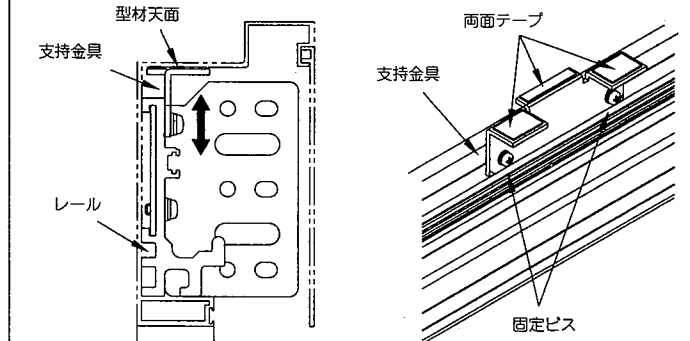
#### 2 レールの取付け

● 裏板及び縦枠の切欠き加工孔に合わせてレール（コーナーブラケット）を付属の取付けビス（M8×25 六角ボルト）にて取付けして下さい。  
※ 戸先・戸尻側共、同様に取付けを行なって下さい。



#### 3 支持金具の調整

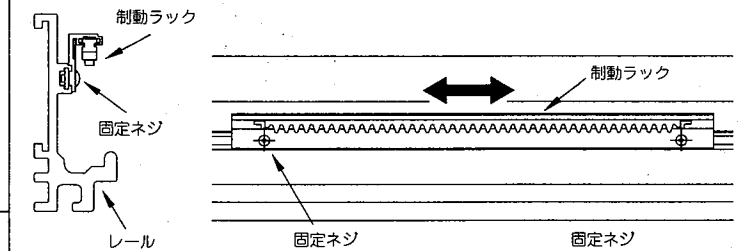
● レールに固定している支持金具の固定ビスを緩め、型材天面まで押し上げ固定ビスにて再度支持金具を固定して下さい。



● レールの倒れを防止する支持金具ですので、必ず位置調整して、しっかりと固定して下さい。

#### 4 制動ラックの位置調整

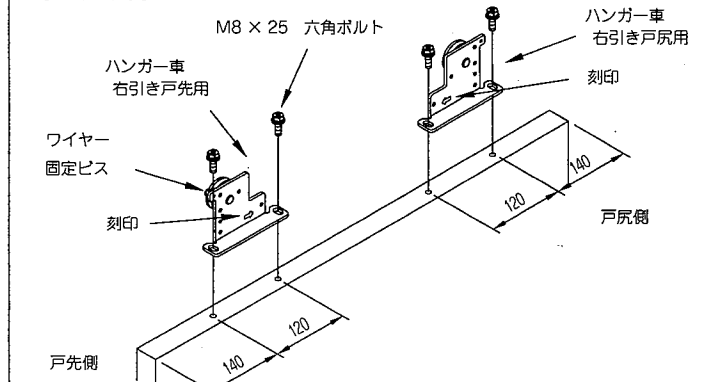
● 制動ラックの位置調整が必要な場合、レールに固定している制動ラックの固定ビスを緩め、スライドさせて位置調整して下さい。  
位置調整後、固定ビスにて再度制動ラックを固定して下さい。



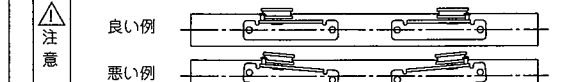
● 異音、制動不良の原因になりますので、固定ビスは位置調整後に確実に締め付けて下さい。

#### 5 ハンガーの取付け

● 図のように戸先用と戸尻用それぞれのハンガー車の矢印（刻印）が扉の内側に向くようにハンガー車を取付けて下さい。  
● 右引き・左引き共に戸先用のハンガー車にはワイヤー固定ビスが組付けられています。

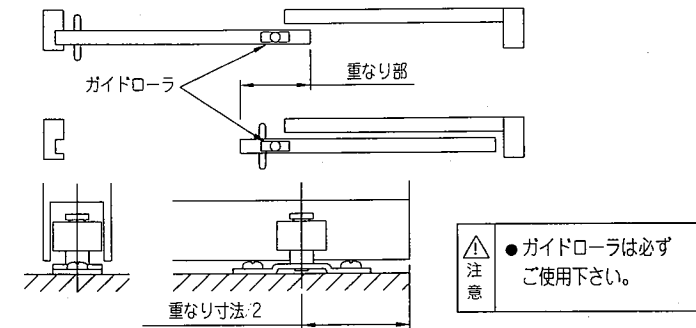


● ハンガーは戸先側と戸尻側が一直線となるように取付けて下さい。



## 6 ガイドローラの取付け (オプション)

- 扉の重なり部中央に取付けて下さい。(取付けネジは付属していません)
- 扉が床面と垂直になるように取付けて下さい。



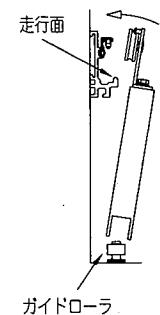
●ガイドローラは必ずご使用下さい。

## 7 扉の吊り込み

### ① 扉の吊り込み

- 扉吊り込み前に、レール走行面に付着している汚れを拭き取って下さい。
- 扉の下部をガイドローラに合わせて、戸車をレールに吊り込んで下さい。
- 扉がスムーズに開閉できることを確認して下さい。
- 扉と壁枠との隙間は、高さ調整板の使用枚数を増減し、調整して下さい。

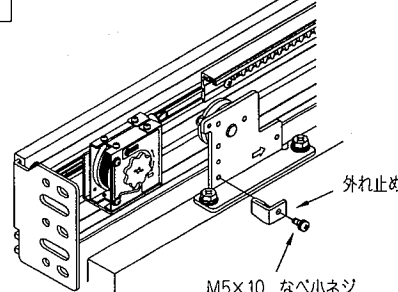
- 吊り込みの際は、制動ラック、レール走行面に傷を付けないよう注意して下さい。
- 制動装置は、必ず扉吊り込み後に取付けて下さい。吊り込みの際、レール等につぶつけて破損する恐れがあります。



### ② ハンガー車用外れ止めの取付け

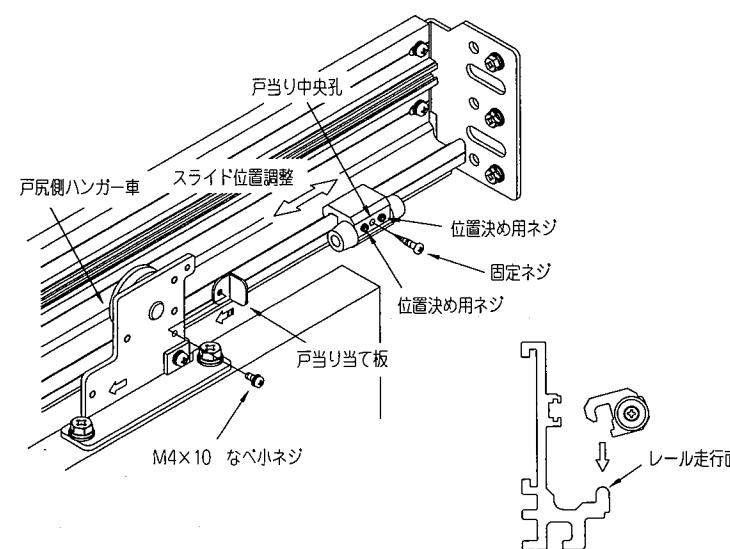
- 戸先側及び戸尻側のハンガー車に外れ止めを付属の取付けネジ (M5×10 なべ小ネジ) にて取付けて下さい。

- 扉の脱着防止のため必ず取付けて下さい。



## 8 戸当りの取付け

- 戸当り当て板を付属のネジ (M4×10 なべ小ネジ) で、戸尻側のハンガー車に取付けて下さい。
- 戸当りをレール走行面に挿入して下さい。戸当りをスライドさせて開扉位置を調整後、位置決め用ネジ (2本) を締め付けて戸当りを仮固定して下さい。
- 戸当りの中央孔からレールに下孔φ3.0~φ3.5の加工を行なって下さい。加工後、付属の固定ネジ (1本) を締め付けて戸当りを完全固定して下さい。



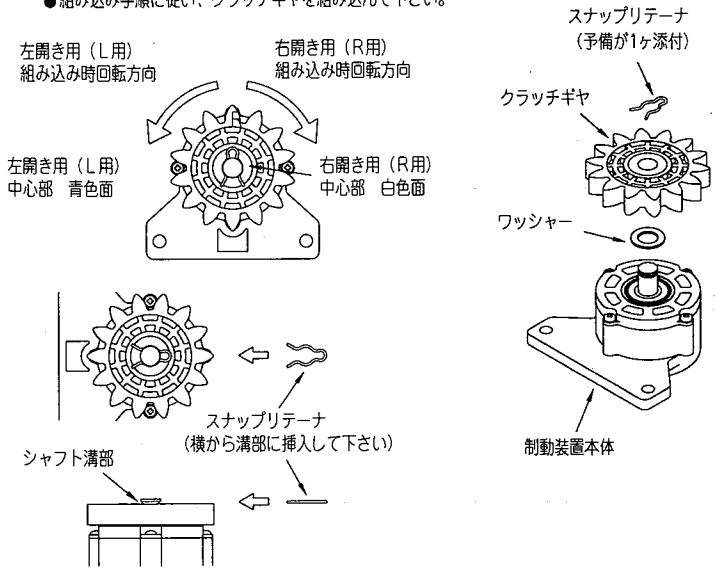
- 固定ネジは下孔加工を行ってから、締め付けて下さい。
- 戸当りがずれる恐れがありますので、固定ネジは必ず締め付けて下さい。

## 9 制動装置の取付け

本制動装置は左右勝手兼用です。クラッチギヤ組み込み方向により左右勝手がきまります。クラッチギヤの組み込み、組み替えを行う際は、下記の手順に従い実施して下さい。

### ① クラッチギヤの組み込み・組み替え

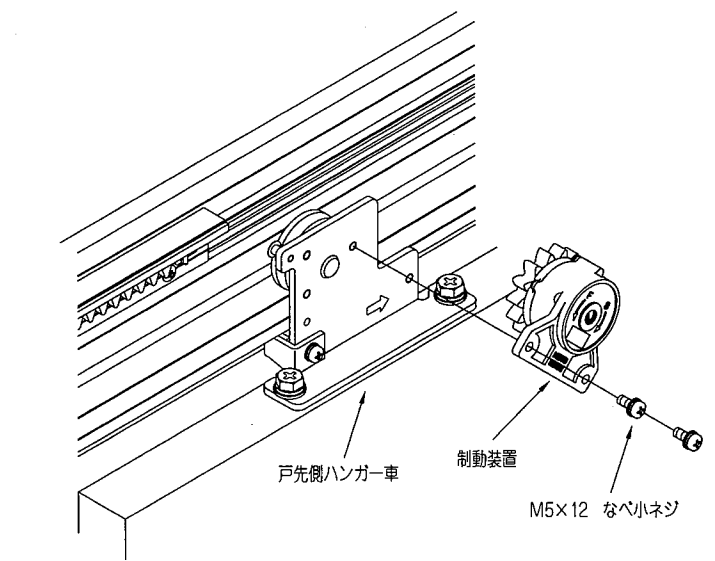
- (1)クラッチギヤの組み込み
- 制動装置本体シャフト部にワッシャーを挿入して下さい。
  - クラッチギヤをシャフトに挿入して下さい。
  - ・右開き用の場合  
クラッチギヤ中心部白色面 (R捺印面) を上側にし、下図右開き用矢印方向に回転させながら挿入して下さい。
  - ・左開き用の場合  
クラッチギヤ中心部青色面 (L捺印面) を上側にし、下図左開き用矢印方向に回転させながら挿入して下さい。
- (2)クラッチギヤの組み替え
- 組み込み手順を逆に、クラッチギヤを取り外して下さい。(クラッチギヤは組み込み時と同じ方向に回しながら取り外して下さい)
  - 組み込み手順に従い、クラッチギヤを組み込んで下さい。



- クラッチギヤの挿入及び取り外しは、必ず指定の回転方向に回しながら行って下さい。無理に行くと、クラッチギヤが破損する恐れがあります。

### ② 制動装置の取付け

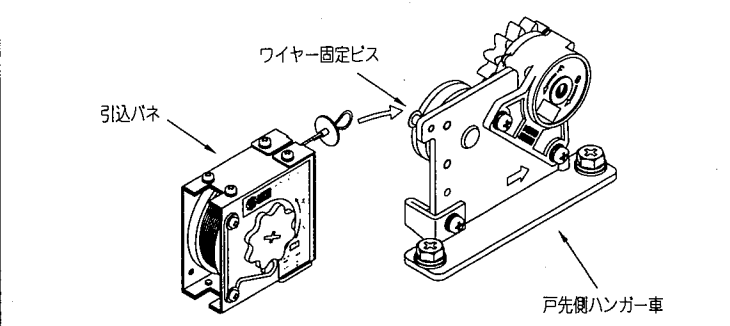
- 制動装置を付属のネジ (M5×12 なべ小ネジ) で、戸先側のハンガー車に取付けて下さい。
- 扉を60cm以上開いた状態 (制動ラックセットと噛み合わない位置) で取付けを行って下さい。



- 制動装置の左右勝手を確認して下さい。勝手を逆に付けると制動が効きませんのでご注意ください。
- 制動装置の取付けは、必ず扉吊り込み後に行ってください。吊り込みの際、レール等につぶつけて破損する恐れがあります。

## 10 引込パネ ワイヤーのセット

- 引込パネのワイヤーを引き出し、戸先側ハンガー車のワイヤー固定ビスに引っかけて下さい。

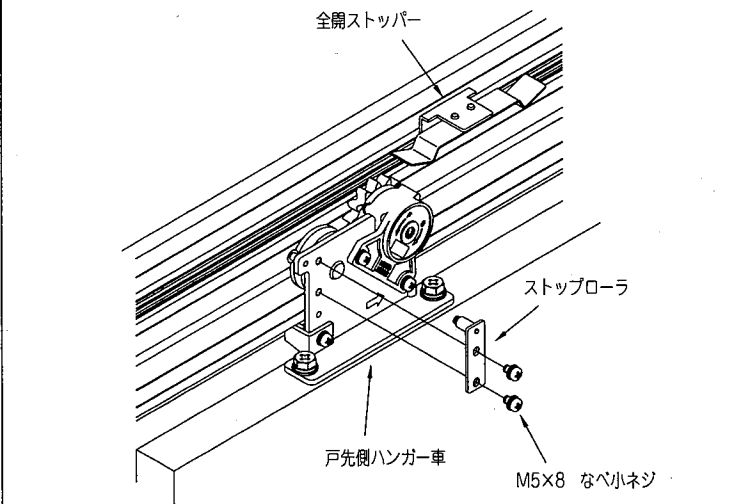


- ワイヤーに傷が付く恐れがありますので、引込パネ単体で (取付け前に) ワイヤーを引き出さないで下さい。

## 11 全開ストップ装置の取付け

### ① ストップローラの取付け

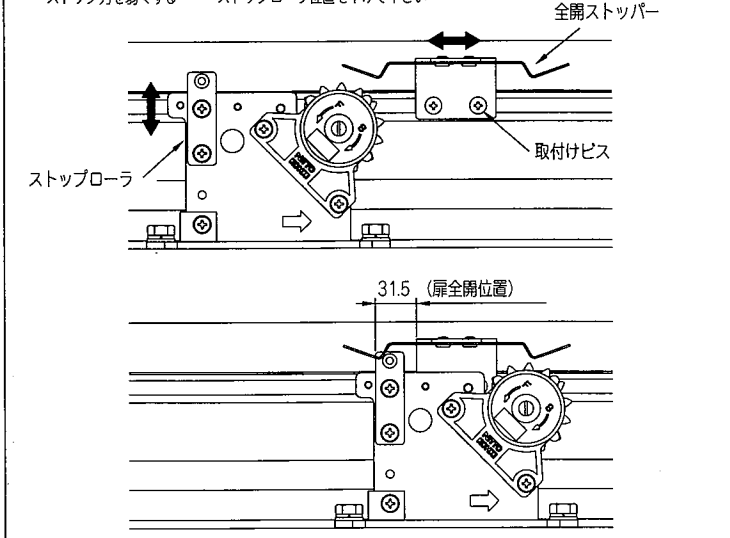
- ストップローラを付属のネジ (M5×8 なべ小ネジ) で、戸先側ハンガー車に取付けて下さい。



- 必ず指定の付属ネジを使用して下さい。他の部品と接触する恐れがあります。

### ② ストップ位置、ストップ力の調整

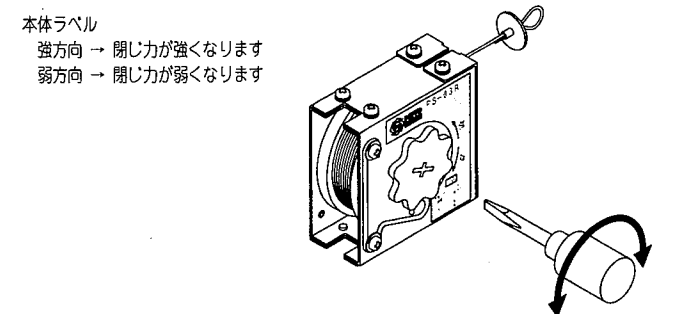
- 扉全開位置でストップするよう、取付けビスを緩め全開ストッパーを左右にスライドさせて板パネの位置を調整して下さい。(調整後は取付けビスを必ず締め付けて下さい)
- ストップローラ位置を上下させて、ストップ力を調整して下さい。
  - ・ストップ力を強くする → ストップローラ位置を上げて下さい
  - ・ストップ力を弱くする → ストップローラ位置を下げて下さい



## 12 閉じ力、閉じ速度の調整

### ① 閉じ力の調整

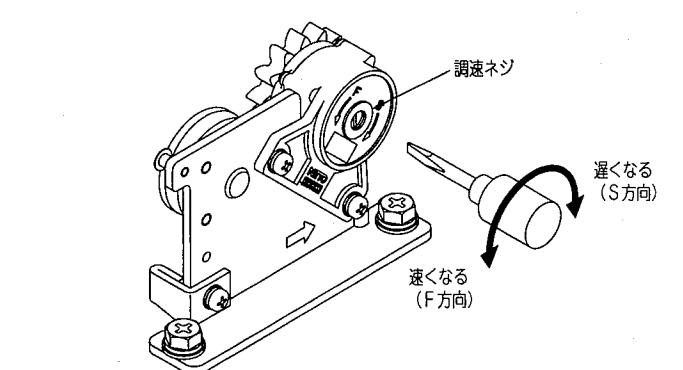
- 閉じ力の調整が必要な場合は、ギヤシャフトをマイナスドライバーで回して調整を行って下さい。



- 強方向への巻き込み過ぎは故障の原因となりますので、必ず本体ラベルの巻き込み回転数以下に設定して下さい。

### ② 閉じ速度の調整

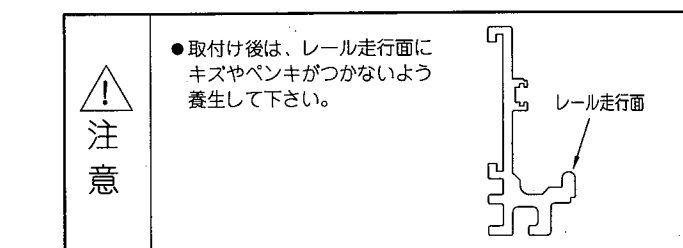
- 制動装置の調速ネジをマイナスドライバーで回し、閉じ速度の調整を行って下さい。(出荷時は一番速い状態に設定してあります。)



- 制動ラックセットの位置をスライドさせて制動区間を調整し、閉じ速度の調整を行って下さい。
  - ・制動区間を短くする (戸先側へスライド) → 閉じ速度が速くなります
  - ・制動区間を長くする (戸尻側へスライド) → 閉じ速度が遅くなります

- 調速ネジは軽い力で回し、突き当たり後は無理に回さないで下さい。周囲温度の変化により多少閉じ速度が変化します。温度が高いと速くなり、低いと遅くなります。

以上で取付け完了です



- 取付け後は、レール走行面にキズやベンキがつかないように養生して下さい。